

令和6年度 第3回三次市地域公共交通会議 議事要旨

1. 開催概要

日 時：令和6年8月22（木）14時00分～15時00分

場 所：三次市役所本庁舎602・603会議室

出席者：

〔会長〕三次市 副市長 細美 健

〔委員〕

※(web)はオンライン参加

三次市地域共創部 矢野 美由紀	三次市建設部 濱口 勉
備北交通株式会社 實兼 利光	十番交通有限会社 有木 好文
三次みどりタクシー株式会社 石田 光雄	私鉄中国地方労働組合備北交通支部 長谷川 和宏
粟屋町 中野 和彦	君田町 今本 豊
三次商工会議所 竹本 勇夫	三次広域商工会 中宗 久之
三次市社会福祉協議会 梶原 真美	中国運輸局広島運輸支局 蔦 真
広島県地域政策局公共交通政策課 柴田 益良(代理)(web)	西日本旅客鉄道株式会社広島支社 山口 晃弘
広島県警三次警察署 若宮 晋	広島経済大学経済学部 加藤 博和

2. 会議次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 報告事項
 - (1) 市街地循環バス「くるるん」の利用状況について
 - (2) 令和7年度地域内フィーダー系統確保維持計画の一部修正について
- 4 協議事項
 - (1) 三江線代替バス「川の駅三次線」の停留所の新設について
 - (2) 三江線代替バス「川の駅三次線」の系統の新設について
 - (3) 三江線代替バス「川の駅三次線」の運行回数の変更について
 - (4) 三次市民バス「三和町線」のフリー乗降区間の設定について
- 5 その他
- 6 閉会

3. 議 事

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 報告事項

＜事務局より、報告事項(1) 「市街地循環バス「くるるん」の利用状況について」を説明＞

(会長)

前回の交通会議の追加説明であった。ご質問等あればお願いします。

(加藤委員)

前回、質問した論点として、酒屋地区でどのくらい観光されたかを知りたかったというのがある。資料を見ると、三次ワイナリーの利用が 199 人、美術館前が 112 人。他のバス停に比べると便数が少ないため、実利用者数はこういった値なのかもしれない。市街地から離れたワイナリーや美術館に土日祝も行ける事を、ターゲットに向けて周知すると利用が増えるのではないか。

また、もののけミュージアムの利用者が多い。区間を見ると、もののけミュージアムと上原西との往来が多い。観光客というよりは住民の方がサングリーンに行き来されていると見受けられる。もののけミュージアムのバス停に拠点性があることも知ることができた。

(薦委員)

これはパスピーの利用データということであるので、現金利用は入っていないということか。

(事務局)

その通りである。

＜事務局より、報告事項(2) 「令和 7 年度地域内フィーダー系統確保維持計画の一部修正について」を説明＞

4. 協議事項

＜事務局より、協議事項(1) 「三江線代替バス「川の駅三次線」の停留所の新設について」を説明＞

＜事務局より、協議事項(2) 「三江線代替バス「川の駅三次線」の系統の新設について」を説明＞

＜事務局より、協議事項(3) 「三江線代替バス「川の駅三次線」の運行回数の変更について」を説明＞

(会長)

ご質問等あればお願いしたい。

(實兼委員)

今回の場合、系統を分ける必要はあるのか。停留所が有るか無いかという違いだが、将来的には対岸にも作られるかと思う。

また、降車専用は当社が条件を出したのか。または何か降車専用の意図はあるのか。

(薦委員)

系統については、旅客担当と協議した上で分けることが必要、と整理した。

(事務局)

降車専用の意図としては、くるるんと並行路線になり、あらかじめ備北交通にお伺いしたということではないが、くるるんの利用を考慮して、川の駅三次線は降車のみという設定にさせていただいた。

また反対側は、現在は拡幅工事中で停留所の設置は難しいが、二車線化された際には反対側にも停留所を設置したい。その際には各交通事業者と協議をした上で、この間で停車が出来るかを検討したい。

(實兼委員)

降車専用に関して、これまでは交通機関や圏域等の兼ね合い、競合もあったかと思うが、これから先は利用できるものは全て利用するという方向で進めるべき。事業者としては、このような考えを持っている。

(加藤委員)

ここを通る路線としては三江線代替バス式敷三次線もある。三次駅の次は丸大食品前まで止まらないかと思う。利便性向上という点で言えばフレスポみよし付近に停留所があれば良いのではないか。今回は、君田交通から設置の提案があったのか、それとも三次市として考えられたのか。利便性が向上するのであれば他の路線にも波及しても良いかと思う。

(事務局)

この度の停留所の新設は、作木町の地元の協議会からかねてより要望があったものである。川の駅三次線以外の安芸高田市からの路線バスについては、現在は指摘のような協議に至っていないが、川の駅三次線が停留所ということは情報を共有する。安芸高田市において、地元の要望等を踏まえて議論されるかと思う。

(山口委員)

運輸局にお伺いしたい。トータルでの運行便数は変わらないであろうが、系統が増えることによって運行回数がそれぞれ少なくなると補助金に影響はあるのか。「何回以上なら補助金が出る」といった条件があったように記憶しているが、あるようであれば教えて欲しい。

(薦委員)

補助金としてフィーダー系統の補助があるが、主系統とほぼ同じ経路を走るため同一のものとして

扱えると認識している。そのため補助金には影響がないと考えている。

(会長)

他にご質問等が無いようであれば協議事項 1 から 3 について一括してご承認いただけるということ
でよろしいか。

(一同)

異議無し。

<事務局より、協議事項 (4) 「三次市民バス「三和町線」のフリー乗降区間の設定について」を説明>

(会長)

ご質問やご意見が無いようであれば、協議事項 (4) についてご承認いただけるということによろし
いか。

(一同)

異議無し。

5. その他

(事務局)

事前にお配りしたチラシについて加藤委員からご説明いただく。

(加藤委員)

情報提供させていただく。「JR 芸備線を考える高校生サミット」のチラシをお配りしている。主催
団体の中に「芸備線魅力創造プロジェクト」があり、そちらから声かけてもらい、関わらせていただく
ことになった。

8 月 25 日の日曜日にみよしまちづくりセンターにて、主に高校生が集って芸備線に関する現状の問
題点、利用促進に向けてのアイデア等を発表し合う。三次高校に「芸備線を盛り上げる会」があるのは
ご承知と思うが、その活動や、合わせて沿線高校での活動など、様々な意見が聞けるものと楽しみにし
ている。また、岡山の勝山高校の前生徒会長さんも来られて、岡山の色々な取組のご報告をいただける
ということである。県を跨いでそうした取組が繋がっていくということで期待している。時間があれば
ぜひ参加していただきたいし、取組があることを周知していただければ幸いである。よろしくお願いし
たい。

6. 閉 会

以 上